

2年生道徳授業 「まいごのすず」(親切, 思いやり)

1. ねらい

相手のことを考えて、親切な行為をすることの大切さが分かり、相手のことを考えて親切な行為をしようとする態度を養う。

2. あらすじ

主人公のゆうきくんが、落とし物の鍵を発見する。映画の予定があるからどうすればよいか迷いつつも、鍵を落とした名前も知らない子のことを思い、先生に届ける。

3. 授業の様子

学校生活や日常生活で親切にしたことやされたことを発表し合いながら、これからも相手のことを考えて親切な行為をしようと考えを深めることができました。

〔子どもたちの感想〕

- ・そうじの時に、友だちがつくえをはこぶのを手つだいました。よろこんでくれました。もっとほかの人にも手だすけをしてあげたいと思いました。
- ・学校の帰りに小さな子がぼうしをおとしていたので、ひろってあげました。そしたら、ありがとうと言ってくれて、心があたたかくなりました。人にいいことをすることは、いいことなんだとはじめて知りました。
- ・算数の時に、ミニ先生をしていっぱい教えてあげられて、友だちも自分もえがおでうれしかったです。もっと親切をつづけたいです。



- ・下校の時に、にもつをもってのおばあさんに、だいじょうぶですかと言ってにもつをもってあげました。その時、心がほっとしました。そして、ありがとうと言われて心が気持ちよくなりました。これからもこまっている人がいたら、たすけてあげたいです。
- ・親切にするのは大切だと思いました。親切にするとあい手も自分もうれしい気持ちになるのがいいなと思いました。
- ・自分のことだけではなく、友だちのことも考えようと思いました。
- ・親切にすると、親切にした人もされた人も見ている人も、みんなうれしい気持ちになるんだと思いました。あい手のことまで考えることがいいことだとかんじました。
- ・親切にすることは、大切だと思いました。こまっている人がいたらすぐにたすけてあげようと思います。



- ・おとしものがあつたら、ひろってまわりの人に聞いたりどけたりしようと思います。自分のことだけ考えなくて、ほかの人のことも考えようと思いました。
- ・あい手の気持ちも考えたらいろいろな人がいい気持ちになるんだと思いました。あい手の気持ちを考えると学校も楽しくできるから、親切はだいじなんだと思いました。

4. お家の方へ

2年生になり、休み時間には、友達と大勢で遊ぶことが増えてきました。学級懇談会でも、「家庭で1年生の時より友達の話聞くことが、多くなって嬉しい。」という話題もありました。友達との関係が深まりを見せる中で、子どもたちは、困っている友達に声をかけたり、手助けをしたりするなど思いやりの心が育まれている姿が見られます。しかし、時には自分中心の考え方をしてしまったり、相手の気持ちを十分に考えられなかったり、親切な行為に移せないことがあります。今回の授業を通して、友達や身近な人の気持ちを考え、自分にできることはないかと相手の気持ちを思いやる大切さに気づき、その思いを親切な行為へと移せるにはどうすればよいかと考えを深めてほしいと思います。